

世界のデング熱流行状況(更新 8)

2010年5月17日 ProMED 情報

(1)ネパール(カトマンズ Kathmandu)[The Himalayan]

今年初めて、2名のデング熱患者がカトマンズで発生しました。熱帯感染症の専門家によると、デング熱は約5年前にTara地区とinner-Tarai地区での発生が確認されましたが、今回がカトマンズバレー Kathmandu Valleyでの最初の発生です。

(2)スリランカ[Spiro News]

デング熱根絶プログラムを担当している疫学者たちは、雨季の到来とともにこの疾患が広がる可能性があるかと警告しました。今年1~4月の間で、デング熱死亡患者76名を含む患者13,500名が発生しました。

(3)タンザニア(ダル・エス・サラーム Dar es Salaam)[Medical Scheme Clinicの医師]

タンザニア保健省によると、4月以来、ダル・エス・サラームの某診療所では、少なくとも17名の疑い患者の受診がありました。すべての患者がダル・エス・サラームの外国人居住者で、何名かは感染する数週間前には、ザンジバル Zanzibar にいました。17名のうち男性が9名、女性が8名、また、2名は子供(2歳と7歳)でした。

(4)レユニオン[Zinfos.974.com]

L' RAS(Sante Reunion 協会)が、週報で1名のデング熱患者を発表しました。
[ProMED 調整者]この報告では、患者が輸入例か、または現地の人かはわかりません。

(5)マヨット島[Institut de Veille Sanitaire ,Synthese Epidemiologique No.5]

5月5日の時点で27名(輸入例15名、土着例5名)が確定診断され、7名は検査中、11名は疑い患者(輸入例2名、土着例9名)です。

(6)グアドループ島 Guadeloupe[Google News Francais]

4月初旬より、デング熱患者の発生が多数続いています。1週間当たり500名で、昨年と同時期の最大患者数の7倍に増加しています。デング熱の流行が始まってから、94名が入院し16名が重症でした。また、デング出血熱は24名でした。

(7)グアテマラ[Prensa Latina]

5月16日、保健省は同国南部のEscuintla州のデング熱発生と闘うため、対策を強化しています。飲料水が最も不足し、報告患者数313名中261名が発生した4つの自治体を中心に対策がとられています。2009年には、この地域での患者数は307名で、208名が古典的デング熱99名がデング出血熱でした。

(8)ニカラグア[El Nuevo Diario]

首都マナグア Managua で、2,784名のデング熱疑い患者が報告されました。患者の大部分は3~5歳の子供です。そのうち、378名がデング熱の確定診断がなされました。

昨年はデング熱患者9,126名が発生しました。

(9)エクアドル(ガラパゴス諸島)RFI[匿名希望:医師]

ガラパゴス諸島を訪れた医師の情報によると、サン・クリストバル島 San Cristobal とサンタ・クルス島 Santa Cruz で、デング熱が流行しているようです。

(10)パラグアイ[The Latin American Herald]

保健省担当者によると、60歳男性と5歳の少年が死亡し、5月6日現在デング熱死亡患者は11名になりました。また、届出12,000名のうち、4,971名についてデング熱の確定診断がなされました。多くの患者はセントラル県 Central、アマンバイ県 Amambay、コンセプション県 Concepcion とアルトパラナ県 Alto Parana で発生しています。

2008年と2009年は、デング熱死亡患者が発生しませんでした。2007年前期では17名の死亡患者を含む27,000名のデング熱患者が発生しました。